

組長の皆様へ

令和5年1月25日  
笠松町内会長 藤田智弘

## 組長会議の開催について

「笠松自主防災会」の活動は長期にわたり停滞し、南海トラフ地震が発生した場合の危機管理ができていない現状を憂慮する方々のご意見に基づき、昨年7月今後の「笠松自主防災会」の在り方について防災活動経験者を中心に防災懇談会を組成し、3度に渉る会議を経て10月の笠松町役員会で令和5年度より現行の町会組織と防災組織の統合を図ることを決議し、10月17日付けの臨時回覧で皆様に概要をお知らせしました。（裏面「臨時回覧」参照）  
回覧内容の通り11月末までに皆さまから頂戴した意見書の内容に基づき112月の役員会及び防災懇談会での討議を経て新年度の具体的な組織案を作成し、1月度役員会で今後の進め方を討議しました。

討議の結果、今回組長の皆様に令和5年度4月からの新組織案を説明し、新年度の区割り班割や区長班長（旧組長）の人選と引継ぎについてのご意見をお聞きした上で最終案を作成することと致しました。

については下記スケジュールで現状の区単位で組長会議を開催しますので、全組長のご出席をお願いします。会議開催については感染症予防の観点より、少人数での会議としますが出席時には事前の検温とマスクの着用をお願いします。

<開催日時>	対象区
令和5年2月4日（土） 10時～11時	1区
13時～14時	2区
15時～16時	3区
令和5年2月5日（日） 10時～11時	5区
13時～14時	6区
15時～16時	7区

※該当時間帯で出席できない場合は他区の時間帯での出席も可能ですので その旨区長宛てにご連絡をお願いします。

以上

(参照)

笠松町内会の皆様へ **臨時回覧** ※重要案件ですので必ずお読みください!

令和4年10月17日  
笠松町内会長 藤田智弘

### 笠松町内会組織（区 組割）の改定について

昭和23年の市制施行により泉佐野市が誕生し、昭和24年の町名と区画の改定当時の笠松町は綿紡績工場と農耕地が多く戸数は284戸でした。

その後、産業構造の転換や空港関連用地・住宅開発により令和4年4月現在では1,524戸まで増加し、約2,700名の住民の方が生活しておられます。

74年続いた笠松町組織は、地域（区・組）毎の人口の増減が大きく世帯数・面積に大きな差異が発生しています。 ※ 別紙 「(現在) 笠松町内会 区割り表」参照

現在町内会組織の運営において区長・組長の業務負担も大きな差異が発生し、町内会費徴収や市報配布等の運営にも障害が発生しています。住民の高齢化、一人住まい世帯の増加等、このままでは区長・組長の担い手が不足し、町内会活動の継続が大変危ぶまれる状況になっています。

については町内会活動の継続と増大する自然災害への対応を目的に町内会組織の改定を検討しております。

現在の防災会組織は10年前に災害時の対応を目的に面積・戸数を基準に合理的に区割りされていますが、町内会組織との二重性もあり住民の納得感や活動不足による理解の浸透ができておりません。

今回笠松町役員会で協議の結果、令和5年4月の新年度より別紙「(新) 笠松町内会区割り案」のように防災組織を基本とした区への改定と現状の組を防災会の班割へ移行するにあたり、町内会員の皆様のご意見を集約したく広く声を求めるものです。

特に現状の組組織を防災会の班組織に組み替えることには大きな違和感や不都合があるかと存じますが、防災を最優先する組織への改定により現状の課題を解決し将来にわたり安全で安心して暮らせる笠松町を創る為、皆様のご意見をお願いします。

笠松会館玄関に意見書の用紙を準備していますので、皆様のご意見・ご提案をご記入いただき 11月30日までに笠松会館入口のポストに投函いただきますようお願いいたします。

以上